

第2回総務文教部会記録

- ◆日 時：令和6年1月29日（月） 14時00分～15時15分
- ◆場 所：京丹波町役場大会議室
- ◆出席者：山根里香委員、大西義弘委員、坂本正義委員、長谷川真一委員、谷文絵委員
（松山部長、堂本次長、下村課長補佐）

部会長・副部会長の選任について

部会長：坂本正義委員
副部会長：山根里香委員

創生戦略事業評価について

- ・委員：あんしんアプリより以前の告知端末の方が情報を入手しやすかった。
- ・事務局：国がDX推進しているが、スマートフォンを利用するアプリケーションを実装する自治体は多い。ケーブルテレビの民営化から総務省の事業を取り入れて、スマートフォン教室を開催している。高齢者の方も参加していただき、スマートフォンの使用方法から伴走しながら、利用していただく方法で進めていきたい。
- ・委員：私の区はあんしんアプリで連絡をしている。避難所や避難訓練の開設などお知らせし、都度登録しているかどうか確認し、インストールを促している。
- ・事務局：どこにいても見られる、離れている家族でも見られるというのはメリット。DXは、今後利便性は高まるので、個人情報取り扱いなども含めて導入していきたい。
- ・事務局：健康づくりの取り組みは、個々の委員で何かしているか。
- ・委員：誰かと一緒にとか、歩く機会があれば続けられるし、食べることにしても気を付けて、野菜は町内の顔が見える方のものを買ったり、こだちカフェの栄養表示のお知らせなどで気にするようになった。京丹波町外の方々からもよい取り組みと聞いている。
- ・事務局：ウォーキング事業は、若い保健師さんの発想で始めており、全国的にスポーツ習慣は働く世代がすくないため、ターゲットとしてはいるが、高齢者の方々の利用が促進されている。多様性の溢れる時代なので、色々なことをしていきたい。
- ・委員：丹波自然公園のレストランは、土曜日は健康的な食事を提供しており、道の駅はジビエの取り組みもしているので、京丹波町は健康と食で、他所から来た人にアピールしていければいいと思う。
- ・事務局：この部分では、情報発信と健康メニューを考えて健康と食の町というところを更に発信していきたい。アプリは、歩いてポイントも貯めることも重要だが、検診や健康指導に繋げていくことも大切と考えている。そういったことを中心にまとめていきたい。
- ・委員：公園やグランドゴルフ場でお年寄りが子どもたちと対話している環境がある。

- ・委員：そういうのは恵まれている。小学校下校時は、畑仕事をしながら、お話ししているが、今はバス乗って帰るので、会う機会がない。下村区のラジオ体操は凄いと10何年前から思っていたら、未だに続けられている。
- ・事務局：消防団は集落の各家を周り、状況を把握しており、大雨などの有事の際には対応できているが、日常的な取り組みは町の方で進めている。
- ・事務局：サロンなどを開催し、皆が出てくるような環境を作っていきたい。